

さらき

第291号

令和5年2月24日

発行：更木町振興協議会
更木地区交流センター

TEL/FAX: 0197-66-2569

saraki-kc@chime.ocn.ne.jp

http://www.saraki-kitakami.org



町内の動き (対前月比)

人口: 1,005人 -3人

男 477人 -2人

女 528人 -1人

世帯数: 413世帯 +1

祝 20歳のつどい

去る1月8日(日)さくらホールにおいて「20歳のつどい」が開催されました。

これまでの北上市が主催する成人式に代わり、今年から実行委員会を設置し、「繋ぐ」をテーマに自らの企画による「20歳のつどい」として開催されました。

北上市長よりお祝いの言葉をいただき、恩師からのビデオメッセージや青年の主張、地場産品が当たるくじ引き大会など楽しい企画で新たな式典となり、久しぶりの再会に笑顔がはじけていました。



しらゆり塾&公民館合同研修

はじめての笹かま手づくり体験

去る、1月28日(土)しらゆり塾体験学習・公民館合同研修で仙台市「鐘崎笹かま館」へ行き、笹かまの手作り体験をしました。かまぼこのタネを型に入れて成型し、串にさして焼き台へセット、きれいな焼き色を付けて完成です。

ジュワジュワッと水分が垂れ、おいしそうに色付いた出来たてのふわっとした焼きたての美味しさを味わうことが出来ました。

午後からは松島海岸に移動し、散策や見学をして帰ってきました。和気あいあいと楽しい研修会でした。



令和4年度北上市北部三地区講演会が開催されました



去る、2月3日(金)北部三地区振興協議会連絡会議が更木地区交流センターホールにおいて参加者60名で開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため懇親会は中止とし講演会のみで開催としました。講師に及川副市長をお招きし「誘致企業キオクシアの現状と経済効果について」をテーマに講演をして頂きました。キオクシアの工場誘致から現在の工場建設の現状と今後のキオクシアの状況説明や、進出によるメリットと課題、また、北上市の経済効果についてお話いただき、コロナ禍で3年ぶりの開催でしたが参加者は真剣に聞き入っておりました。

3年ぶりのニュースポーツ大会

2月12日(日)更木小学校体育館でキンボールを行いました。直径1メートルほどの特大のボールを使ってサーブやレシーブを繰り返して得点を競うスポーツです。子供から大人まで4人1チームで、ボールを落とさないように助け合いながら体育館を駆けまわり、好プレーや珍プレーありでとても楽しめました。初めての競技でしたが、北上市スポーツ推進員の方々も参加して楽しいゲームとなりました。



オムニキン、みどり!



コミュニティ・スクールについて



令和4年度からスタートした“北上を目指すコミュニティ・スクール。初年度に当たり組織体制と活動目的及び活動計画を立て各組織の役員の皆様にご理解を求めご協力とご支援を頂きながら取り組みました。地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)として、1年間活動してきました。

北上北中学校区学校運営協議会更木小学校部会と更木地域学校協働活動委員会がスクラムを組みながら、地域と学校が協力して地域社会全体で子どもを育てる体制を整え取り組みました。

コロナ禍で中止となることもありましたが、事業も概ね実施することが出来ました。少子高齢化、人口減の進む更木地域にとって、“子どもは宝”です。一人一人の願いに寄り添ったきめ細やかな一つ一つが“子どもの生きる力”を育み、次代を担う大きな財産になるものと信じて次年度さらに向上心をもって活動したいものと考えています。

皆様の更なるご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

地域コーディネーター 川村 恵壽



シリーズ Vol.9

更木の神社・仏閣の紹介



稲荷神社 (いなりじんじゃ)

ウカノミタマノミコト

臥牛天野山観音寺境内にあり、稲倉魂命を祀っている、臥牛下山なる金山の千太郎と云う人の氏神であって鎮座建立は明和3年(1766年)10月であったが、天保13年(1843年)9月天野山より下山の金山と云う別当の近所に鎮座を移し再建立した。

元治元年(1864年)9月京都紀伊郡深草村(現、京都市伏見区深草藪之内町)大字福稲正一位稲荷大明神の鎮護を勧請し正一位稲荷大明神と稱す、明治10年(1877年)再び観音寺境内に奉遷し村社とした。祭日は9月15日である。氏子は約60名で社掌は遠藤重治郎氏である。

* 更木くわ通信 *



更木活性化協議会では、2月13日と14日の2日間宮城県南三陸町へ研修視察に行ってきました。

南三陸町入谷地区は仙台藩の養蚕発祥の地として養蚕が盛んに行われていました。現在は地域を活用し「ひころの里」として「松笠屋敷」「シルク館」があります。施設長に説明をしていただいてから繭細工体験をしました。また、YES工房は若い方が多くニーズにあった繭細工を製作しており、販売方法などをお聞きし、今後の販売促進につなげるための大変有意義な研修でした。



臥牛とうふ工房からのお知らせ

昭和49年に「臥牛とうふ工房」が設立してから豆腐を製造していましたが、昨年末で豆腐の製造を終りました。皆さんから愛されていた「臥牛とうふ」長い間ありがとうございました。

また、味噌は継続して製造・販売しています。



八天遺跡保存計画の進捗状況について

平成29年から始まった八天遺跡の整備計画は、保存活用計画が終わり今年度から整備基本計画の策定に取り組んでいます。また、遺跡調査も第9次調査が終わり遺跡の全体像が見え始めてきました。今後の活動は、遺跡の第10次調査と整備基本計画の作成を進めていく予定になっています。



3月のおもな行事予定

- 9日(木) 午後 7時 女性の会幹事会
- 11日(土) 午前10時 運動教室
- 15日(水) 午後 7時 地域づくり推進委員会
- 16日(木) 午後 6時30分
生涯学習・スポーツ推進委員会
- 18日(土) 午前10時 運動教室
- 23日(木) 午後 2時 更木区長会議
- 24日(金) 午後 1時30分
社会福祉協議会更木支部幹事会
- 25日(土) 午後 1時30分
更木町振興協議会幹事会

▶ 運動教室参加者募集

▶ ラージボール卓球とバランス運動 ▶

地域みんなが健康に過ごせるように、誰にでも楽しくできるラージボール卓球とバランススクーター体験を行います。経験のない人も楽しめます。お友達をお誘いあわせの上、是非ご参加ください♪

日時/3月11日(土)、3月18日(土)

時間/午前10時から正午まで

場所/更木地区交流センター

内容/ラージボール卓球とバランス運動
(バランススクーター)

対象/更木地区の方

募集人数/各回10人

用意する物/運動靴、タオル、飲み物

申込み/更木地区交流センター

電話 66-2569



▶ 「まゆ玉」の販売のお知らせ

(株)更木ふるさと興社では、更木産の「まゆ玉」を販売しております。最近話題になってきている「まゆ玉」で「まゆ細工」を作ったりスキンケア用として使用したり、お子様の工作にご活用ください。「まゆ玉」は乾燥したもので1玉30円(税別)です。ぜひご活用ください。

お問い合わせ/更木ふるさと興社

電話 0197-81-6136 まで



まゆ玉で作った
雪うさぎ



令和4年度ふれあい福祉委員会が開催されました

北上市社会福祉協議会更木支部では、1月26日(木)に更木地区交流センターにて「ふれあい福祉委員会」が開催され、25名参加で行われました。

北上市社会福祉協議会の職員に「令和5年度ふれあいデイサービス事業実施計画」についての説明をしていただきました。説明後は、地区ごとに分かれて具体的な計画を立てました。来年度も多くのみなさんに楽しんでいただきたいと思います。



永昌寺寺子屋探検隊★春の探検隊員募集!

今年も春の寺子屋を開催します。

今年の春休みは、更木地区の名所を散策探検していきます。大竹公民館をスタートして、大竹廃寺を通過し、山を越えて臥牛観音を目指し、臥牛担い手センターでゴールです。古道あづま海道を通り、昔の人がどのような道を歩いていたかを体験していきます。小さい子から大人まで、寺子屋探検隊に参加して、昔のロマンを感じてください。どなた様も、お気軽にご参加ください!

日時/令和5年3月25日(土)

時間/ 9:30 更木 大竹公民館集合

- ・途中休憩をとりながら進みます
- ・途中で簡単コースと冒険コースに分かれて進みますので、小さな子供でも安心です。
- ・およそ2時間の山道散策です。

12:00 臥牛担い手センター到着予定

※スタッフの車で大竹公民館まで送迎します。

服装/山を歩く服装

持ち物/水筒、おやつ(あめ等)、軍手等

お問い合わせ/永昌寺 電話 0197-66-4240

※場所や内容など、ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。



少子化対策奨励金交付について

更木町振興協議会では少子化対策として、結婚、出産、転入された方に対し祝い金を交付しています。対象は更木地区に住所を有し次に該当する方です。

- (1)結婚された方
- (2)出産された方
- (3)小学生以下の家族と一緒に転入された方

申請書は更木地区交流センターにあります。また、令和4年度以前に上記該当者で申請していない方も対象になりますのでご連絡ください。

連絡先/更木地区交流センター 電話 66-2569



更木小学校創立150周年記念事業のお知らせ

令和5年度、更木小学校は150年の歴史を刻み大きな節目を迎えることとなりました。

《本事業内容案として》

- ・記念式典の開催(R5.10月下旬)
- ・記念誌の作成と発行
- ・記念品配布
- ※詳細については検討中です。